

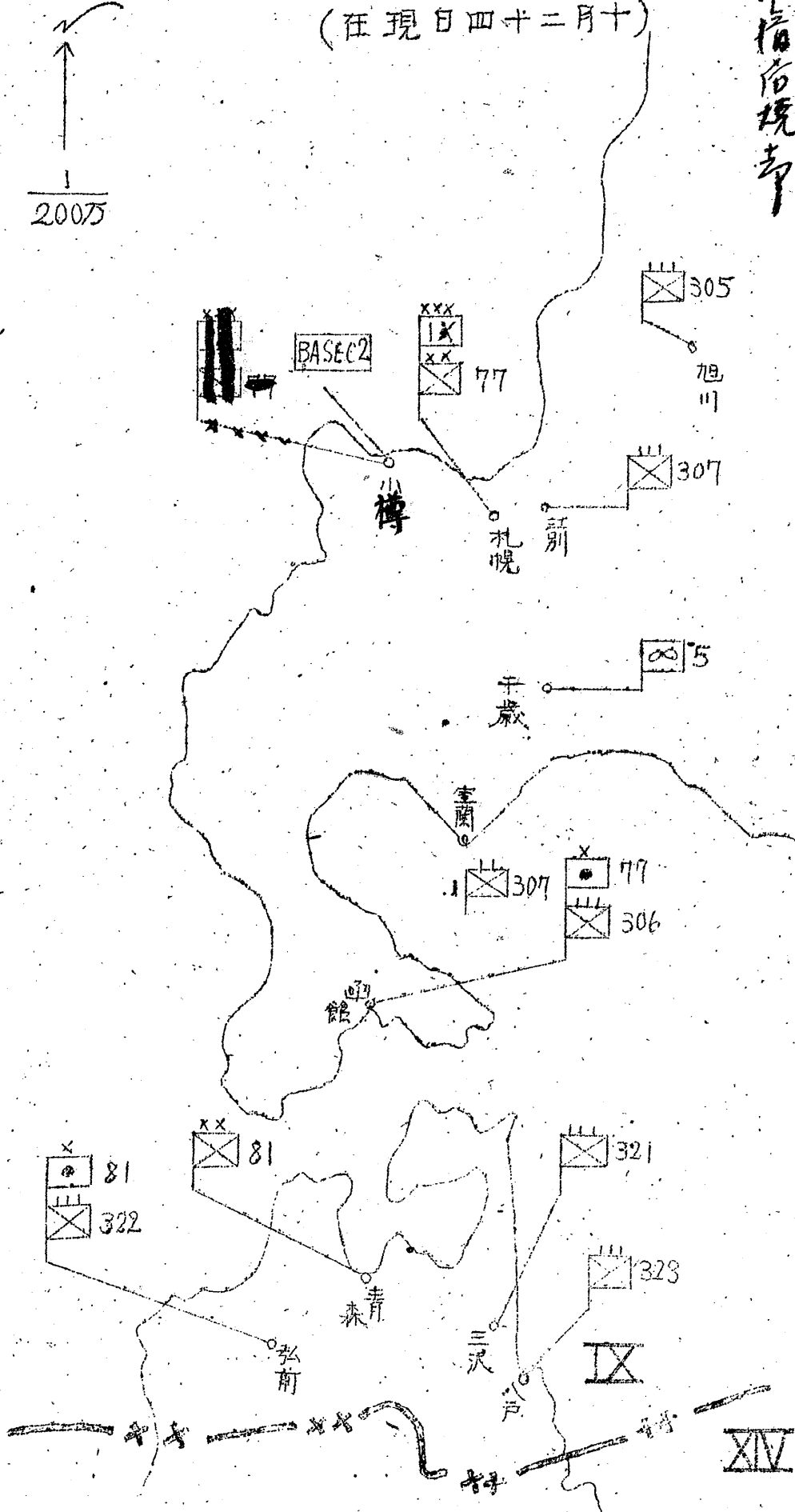
置配兵力軍入第米

(在現日四十二月十)

取扱注意
用指宿境部

女ノ三

200万



主信	14	1	15
附			
甲			
乙			
丙			
丁			
備考			

懸案

A:1-0-0-2

奥山

公文	其他依相移動有之事ト思科セラルニ就而貴事務局管轄區域ニ於ル
首題	首題南シテ其ノ都度夫々報告アリタル処最近ニ於テ有ニ軍ノ解体モアリ且増進
件名	進駐聯合軍兵力配置ニ関スル件
送附先	
受信人	各地方事務局長宛
受信人	見玉總裁
件名録記	
管主	總務部長
管主	主任課長
文書課發送日	昭和二十年四月拾四日
文書課	昭和二十年一月一日起算
正校(原稿)	
淨書	

文書課長

文書課發送日 昭和二十年四月拾四日

淨書

正校(原稿)

(淨書)

13

✓

終連
21.1.11
秘書課

0539

報電線無察警

五十一六一五番電

昭和二十年十二月五日 受信 一時〇九分
外務省見玉總裁宛 マセ総領事

第一七號、貴電第一七號、閣下現在当地進駐
ニナルハ歩兵第三二師團ニシテ司令部ハ福岡ニ
リ本件ニ関シテハ既ニ偵察第一師ニテ報告済
ナリ

總一

一〇二四三三

局長	
課長	
事務官	
主任	
定指	30
数字	114

0539

公
信
案

外
務
省

(1) 調査期日ハ一月十五日現在トス(但シ十五日前後ノ進歩ナル調査日ニテ可)
(2) 詳細ナル兵力教入予困難ナルトキハ概数ニテ可ナリ
(3) 報告シ月未述ニ提出ノコト

0541

公
信
案

外
務
省

兵力配置状況を左記要項ニ依リ調査ノ上報告相煩度

記

一 配置表

村名	駐屯地	軍団別	師団別	聯隊別	兵力数	司令官 所在地	司令官名	摘要

二 指揮系統ヲ示ス簡略ナル圖表ヲ添付ノコト

備考

0540

A'1.0.0.2

深長(一)中司自... 格行...

終戦連絡中央事務局

各地方事務局長

外務省等予改正ノ要ニ付其地所在米軍名四部アリ

(一)官程区域ノ各所在米軍官程区域ニ照應シテ定メラレタル付米軍
駐屯地ニ変化ニ應ジテ改正ノ要ニ依ル

現在

改正

兵 第六軍第十軍口

依世保 第五海兵軍口

京都 第六軍

(第一軍口)
(第二海兵軍口)

大阪 第六軍第一軍口

福岡 第三十二師口

鹿児島 第二海兵師口

三 松山

九八師口(官程区域中)
新設山嶽地区

第一部長
第二課長

連絡官

第一部長
第二課

昭和二十年十月二十五日現本^立進奉聯合國軍兵力
四〇五、六七五名 中米兵四〇五、四七五名 英兵二〇〇
名ナリ。

外務省

聯合軍進駐狀況一覽

埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	山形	秋田	宮城	岩手	青森	北海道
一八 三三 八五	三七 四六	五〇 一三	二九 八一	五九 四一 四五	一〇 二〇 二〇	一六 五〇	八八 〇八	二八 二六	一四 一一 一一	二〇 二四 一一
富山	岐阜	三重	愛知	靜岡	山梨	長野	新潟	神奈川	東京	千葉
四〇 四五 四七 四五	四〇 四八 二六	二二 三三 〇五	三三 三三 二〇	三三 六九 三三	一七 七一 三三	一〇 三三 一八	七三 一八	二四 二二 二五	三三 三八 九〇	五〇 〇七

昭和五、二、二一現在

終戰連絡中央事務局

石川	福井	滋賀	京都	奈良	和歌山	大阪	兵庫	鳥取	島根	岡山	廣島	山口
四五 一一	七一 一七	一〇 〇〇 〇〇	四六 一六	二八 〇〇 〇〇	六七 〇〇	一一 六三 七七	一一 六七 九七	一一 七九 八八	九四 三三	四五 一一	一〇 〇〇 〇〇	四四 二九
香川	愛媛	徳島	高知	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	鹿兒島	合	計	合
八〇 〇〇	一一 二〇 〇〇	六三 三三 〇〇	一八 〇〇 〇〇	一〇 八〇 〇四	六五 五五 〇〇	五三 九七 〇〇	三三 三三 〇〇	三三 三三 〇〇	四〇 四四 四五	四〇 四五 四七 四五	四〇 四五 四七 四五	四〇 四五 四七 四五

終戰連絡中央事務局

昭和二十年九月二十六日

第一報第三課

連絡官 補 村 誠 恒 夫

終戦連絡中央事務局

聯合軍進駐兵力調査之件

昭和二十年九月二十六日現在聯合軍進駐兵力 四〇五八五名ニシテ上月
 平日現至四〇五四五名ニ比較シテ三八一名ノ増加ヲ見タリ。
 因ニ増加セル諸名ハ石川及ビ高知ノ二縣ナリ。

聯合軍進駐状況一覽

昭和二十年九月二十六日現在

府縣名	二月一日現在	二月六日現在	府縣名	二月一日現在	二月三日現在
北海道	二〇、二四一	二〇、二四一	千葉	五、〇〇七	五、〇〇七
青森	一四、一三三	一四、一三三	東京	三三、八九〇	三三、八九〇
岩手	二、八二六	二、八二六	神奈川	六四、六二五	六四、六二五
宮城	八、八〇八	八、八〇八	新潟	七、三一八	七、三一八
秋田	一、六五〇	一、六五〇	長野	一、〇三〇	一、〇三〇
山形	二、〇〇〇	二、〇〇〇	山梨	一、七一三	一、七一三
福島	五、九四五	五、九四五	静岡	三、六九三	三、六九三
茨城	二、九八一	二、九八一	愛知	三、三二〇	三、三二〇
栃木	五、〇一三	五、〇一三	三重	二、〇〇〇	二、〇〇〇
群馬	三、七四六	三、七四六	岐阜	一、一五〇	一、一五〇
埼玉	一、八三九五	一、八三九五	富山	二、二二二	二、二二二

香川	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	兵庫	大阪	和歌山	奈良	京都	滋賀	福井	石川
八〇〇	四四九	一九〇〇	四五〇	九四三	一九八	二七九九	二六三七	六七〇	二八〇〇	四六一六	一〇〇〇	七一七	四五二
八〇〇	四四九	一九〇〇	四五〇	九四三	一九八	二七九九	二六三七	六七〇	二八〇〇	四六一六	一〇〇〇	七一七	五三二
合計				鹿兒島	宮崎	熊本	大分	長崎	佐賀	福岡	高知	徳島	愛媛
(英) 四〇五、四七五				四〇四五	二二八六	二、三〇五	三〇〇	(英) 五、九七〇	六五〇	一〇、八〇四	一、八〇〇	六三〇	二、二〇〇
(英) 四〇五、八五六				四〇四五	二、二八六	二、三五五	三〇〇	(英) 五、九七〇	六五〇	一〇、八〇四	二、一〇〇	一、六三〇	二、二〇〇

終戦連絡中央事務局

終戦連絡中央事務局

昭和二十年十一月十二日
 第一部長
 第三課長
 連絡官
 第一部長
 第三課長
 聯合軍進駐兵力調査之件
 (由原春調査)
 昭和二十年十一月四日現在 聯合軍進駐兵力四三〇、二八七名
 ニシテ 十一月二十六日ノ夫ト比較シ 二四、四三一名ノ増加ヲ見タリ。
 尚英兵ハ長崎縣ノミニシテ 莫ノ兵力ニ百名ナリ。

聯合軍進駐狀況一覽

昭和二十一年四月現在

所轄名	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	香川
進駐兵力	二〇、二四一	一四、一一二	二八、二六	八八、〇八	一六、五〇	二〇、〇〇	五九、四五	二九、八一	五〇、一三	三七、四六	一八、三八五	八〇、〇〇
進駐兵力	二〇、二四一	一四、一一二	二八、二六	八八、〇八	一六、五〇	二〇、〇〇	五九、四五	二九、八一	五〇、一三	三七、四六	一八、三八五	八〇、〇〇
所轄名	府縣名	千葉	東京	神奈川	新潟	長野	山梨	静岡	愛知	岐阜	富山	合計
進駐兵力	二〇、二四一	五、〇〇七	三三、八九〇	六四、六二五	七三、一八	一〇、〇〇	一七、一三	三六、九三	三三、三二〇	二〇、〇〇	一一、一五〇	四〇、五八五
進駐兵力	二〇、二四一	五、〇〇七	三三、八九〇	六四、六二五	七三、一八	一〇、〇〇	一七、一三	三六、九三	三三、三二〇	二〇、〇〇	一一、一五〇	四〇、五八五

終戰連絡中央事務局

石川	福井	滋賀	京都	奈良	和歌山	大阪	兵庫	鳥取	島根	岡山	廣島	山口	香川
五、三三	七、一七	一、〇〇	四、六一	二、八〇	六、七〇	一、六三	一、七九	一、九八	九、四三	四、五一	一、九〇	四、四二	八、〇〇
四、一七	七、一七	九、六八	五、六一	二、八〇	六、七〇	一、六三	一、七九	一、九八	九、四三	四、五一	一、九〇	四、四二	八、〇〇
愛媛	徳島	高知	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	鹿兒島	合計		
一一、二〇	六、三〇	二、一〇	一、八〇	五、三五	五、三九	三、〇〇	二、二〇	二、二〇	四、四四	四、四五	四〇、五八五	四〇、五八五	四〇、五八五
一一、二〇	六、三〇	二、一〇	一、八〇	五、三五	五、三九	三、〇〇	二、二〇	二、二〇	四、四四	四、四五	四〇、五八五	四〇、五八五	四〇、五八五

終戰連絡中央事務局

終戦連絡中央事務局

昭和二十一年十一月十日

第一部長

第一課長

連絡官

第一課第三課

第三課長

聯合軍進駐兵力調査之件

(内務省調査)

昭和二十一年十一月一日現在 聯合軍進駐兵力 四五五七八二名ニシテ
前同報告(二月四日)セル四三〇、〇八七名ニ比シ 二五、四九五名ノ増加ヲ
見ズ。

尚前同報告ニ長崎縣進駐、英兵二〇名、南シテハ其後情報多ク上記
ニ因シテモ 十月四日英兵乙巡洋艦ニテ長崎ニ上陸ス、報告ヲ根據
トシテセルニシテ現英ニ上陸セルカ否ハ目下調査中

終戦連絡中央事務局

聯合軍進駐状況一覽

昭和二十一年十一月現在

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東 京	神 奈 川	新 潟	長 野	山 梨	静 岡	愛 知	三重	岐 阜	富 山	石 川	福 井	七 一 七
二〇、二四一名	一、三八一名	二、八二六名	一、〇九五名	一、六五〇名	二、〇〇〇名	六、三四五名	三、〇〇〇名	六、〇〇〇名	四、三一一名	一、八〇〇名	五、〇〇〇名	四、三〇八〇名	八、五〇〇名	七、三〇八名	一、〇〇〇名	一、四〇〇名	二、四〇〇名	二、五〇〇名	四、〇〇〇名	一、一五〇名	二、〇〇〇名	四、一七〇名	七、一七〇名	

德島	愛媛	香川	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	兵庫	大阪	和歌山	奈良	京都	滋賀
八二二	一一二	一一二	四六七	一九	四五	九四	一一	一五八	一一	六七	三五	五六	一一四
奇						鹿兒島	宮崎	熊本	大分	長崎	佐賀	福岡	高知
四五五七八二						三七九	二二五	二七五	八一	五四	一九四	二八三	一一

終戦連絡中央事務局

昭和二十一年二月十四日

第一部長

第一部長 第三課

第一部長

部長附

第三課長

聯合軍進駐兵力調査三件

(好務有調査)

昭和二十一年二月十二日現五聯合軍進駐兵力四二七六六

名ニシテ前年十二月十七日現五、四五五七八二名ニ比シ

三八二〇名、減少ヲ見タリ。

尚廣島縣ニ於テハ英海軍先遣部隊トシテ若干名進

駐セリ。

外務省

聯合軍進駐狀況

(昭和~~20~~年 2月 13日現在)

區分	府	縣	名	進駐兵力	進駐確定兵力	區分	府	縣	名	進駐兵力	進駐確定兵力		
陸軍	北	海	道	20,241		陸軍	滋	賀	都	1,222			
			森	5,514				京	都	府	5,611		
			宮	2,932				和	歌	山	3,500		
			秋	10,095				大	阪	府	6,700		
			山	1,650				大	阪	府	14,637		
			形	1,550				兵	庫	府	17,229		
			高	6,245				鳥	取	根	220		
			城	1,670				崎	根	郡	943		
			木	4,000				山	口	郡	4,510		
			馬	4,312				山	口	郡	19,000	支隊先遣部隊 若干	
			玉	22,162				山	口	郡	4,451		
			葉	2,406				香	川	郡	1,200		
			京	45,794				愛	媛	府	2,600		
		奈	川	25,293				德	島	郡			
	海軍			瀨	2,570				高	知	郡	2,325	
				野	1,030				福	岡	郡	20,635	
			洲	1,413			佐	賀	郡	633			
			知	2,425			長	門	郡	26,414			
			重	402			大	分	郡	2,022			
			耳	14,750			熊	本	郡	1,820			
			山	120			宮	崎	郡	2,683			
			川	417			鹿	島	郡	2,725			
			河	370			合	計		417,662			

警務課警備係

進駐聯合軍兵力配置ニ関スル件説明

昭和二十一年二月二十五日

終戦連絡中央事務局

一、本件各地方事務局宛文書ハ一月十日終戦連絡中央事務局

総務一課ニ於テ起草セラレ十二日發送セラレタルモノナリ

一、本件又書ヲ發送スル目的ハ純事務的動機ニ出ラザルモノナリ

即チ総務一課ニ於テハ各地方事務局ノ監査及連絡ニ関スル

事務ヲ監督スル居ル知事ヲ同課ニ於テハ聯合軍ノ進駐ニ伴

急進ニ
七、必要ニ應ジ各地ニ設置セラレタル地方事務局、出張所が

A'100.2

現存書指局出張所ノ外新設ヲ要スルモノナキヤ否ナ

終戦連絡中央事務局

真ニ聯合軍ノ必要ニ應ズル様配置セラレ居ルヤ否ヤ事務局

出張所中何レヲ強化補充シ何レヲ減員スベキヤ等ヲ検討シ

之ガ調整方考案中ナリレナリ 偶々終戦未第百軍ノ解体

ノ報アト共ニ進駐軍ノ帰還、移動ノ報アリタルニ付地方

根據地等ノ基礎資料ヲ整備スルノ目的ヲ以テ本件指

令ヲ發出セル次第ナリ

一應 却字

三、右基礎資料進駐当時新聞情報ヲ基礎トシ編集セラレ

トシテ 相当詳細ナル

終戦情報第三号ヲ掲載セラレ居ル聯合軍進駐状況及進

終戦連絡中央事務局

三、更ニ

(位置)

外務省告示ニ依リ公布セラレタル各地方事務所ノ管轄区域ハ

ハ現在地方事務所ノ連絡ニ当リ所在聯合軍ノ管轄区域ニ

依リ表示セラレ居ルヲ以テ聯合軍ノ管轄区域ニ

(管轄)

ヲ改スルノ要アルニ因リ聯合軍ノ移動ヲ明確ニスルニ必要アリ

之本務令ヲ改セル第二ノ部條ヲナリ

四、右ニ理由ニ基キ本件ヲ前記ノ條ニ依リ終戦事務情

(所載)

報第三号ノ一ノ聯合軍進駐状況及進駐予定表

終戦連絡中央事務局

(進駐当時邦字新聞報道ヲ基礎トシ編纂セラレタルモノ)

ノ形式(右表ニ於テ進駐地、部隊名、指揮官名、兵力

進駐年月日、備考ノ欄ヨリ成ル)ニ則リ指令ヲ發出ス

先此第

本件指令案書ノ案稿ハ前記ノ如ク進駐地ニ因リテハ何レニモ

軍進駐ニ關シG.H.日ニ奉ル細目ニ付照會セシムルノ上

ニ依ルトテ進駐年月日未定ノ條ヲ附シ終戦事務連絡ヲカサ

ニ依ルトテ進駐年月日未定ノ條ヲ附シ終戦事務連絡ヲカサ

終戦連絡中央事務局

五、本件指令発出ノ取扱ハ前記ノ如ク統事協的考慮ニ因ル
 多シテヲ指令ノ裏面ニ何等他人取扱ナカレハ指令中
 何等秘密ニ之ヲ洩重スル等不慮ナル字句ヲ用ツルニ
 ナク各地方事務局カ不明ノ際ハ^{現地}聯令第二四号ス
 ルトテ^ルキヲ防止スル字句ヲ有セザルニ元領ニ明カナル
 ベシト思フス。 此ノ如ク本件資料ノ整備ヲ南ノ十
 中ノ^中部^部十^十部^部ノ整備ヲ南ノ十^十部^部ノ日^日日^日ニ

終戦連絡中央事務局

六、英流軍進駐ニ當リテハ必要資料整備ノ為 係司令官部
 ニ對シ一月四日附^レヒテ^レ四^四号^号ス。 此^レニ^レ今般^般本^本ノ
 如ク^レ年^年便^便ヲ^トラ^ヤリ^レハ 既ニ^レ情^情報^報第^第三^三号^号ノ^レ所^所載^載ノ
 表^表ニ^レ依^依リ^レ必^必要^要ナル^レ資^資料^料ハ 整^整備^備ス^レ居^居ル^レ唯^唯右^右ノ^レ旧^旧式^式
 ナ^リシ^ニ過^過カ^ス 此^レノ^レ之^之ヲ^レ整^整備^備ス^レ且^且 ア^アフ^フコ^コツ^ツイ
 式^式ノ^レ上^上ニ^レ交^交リ^レノ^レキ^キ度^度ヨ^リ 直^直接^接地^地方^方事^事務^務局^局ニ
 (連^連絡^絡セ^セラ^ラレ^レタ^タル)

終戦連絡中央事務局

内令ヤレカ如キ云々ノ心トシニ依リテトナク前記ノ聯合會子

世為を科整備ノ為

進駐地迄及進駐予定表ヲアツコソ、シートニシテ夜ト

ニ簡單ニテ考慮ヨリ直接地方事務局ニ連絡を結果均

送致ラカケルヲ進駐トス

七 務地方棟構ハ一月廿一日附次官會談ニ於テ報告ノ上相當ノ

軍政和系統ノ確立明白トナリタル

調和ナシタルガ右ハ本件指令案ニ後ニ鑑ミ軍政部系統ニ

原則トシテ

即應スル急制ヲトルコト、シ決定 用右念ニ為申候フ

セラレタルモノナリ

Explanatory note on "the Allocation of the Allied Occupation Forces"

(1) The communication on the above subject addressed to the Local Liaison Offices was drafted on 11 January last by the 1st Section of the General Affairs Division, Central Liaison Office, and was dispatched on 12 January.

(2) The object in view in dispatching the above communication was purely clerical. The 1st Section of the General Affairs Division is in charge of the business pertaining to supervision of and liaison with the Local Liaison Offices throughout the country.

It has long been making investigations on whether or not the Local Liaison Offices and branches established at various places to meet the requirements more or less in a haste as the Allied Occupation progressed, are satisfactorily dispositioned to deal with the present situation, whether or not the new establishments are necessary in addition to the existing offices and branches, and as to which offices are to be reinforced and which other offices may be reduced in staff, and what adjustments are to be made accordingly. Incidentally it was learnt toward end of the last year that with the dissolution of the Sixth Army, partial demobilization and re-disposition of the Occupation Forces were taking place. With a view to obtaining the basic data to adopt the local organization of the Liaison Office to the altered situation, the above-mentioned communication was sent out.

(3) In addition to the above, the jurisdictions of the Local Liaison Offices, which are publicly announced in the Ministry of Foreign Affairs Notification along with the appellation of the respective Offices and their location, are indicated by the areas the local unit of the Occupation Forces controls, with whom the Liaison Office concerned is to deal with. Therefore, it becomes necessary to revise the Notification mentioned above, if any change occurs in the disposition of the Occupation Forces, such as demobilization or transfer. This was the second motive that induced the dispatch of the instructions in question to obtain the details of the change in disposition of the Occupation Forces.

(4) For reasons stated above, the instruction was issued in accordance with the form of the Chart, "Present State and Program of Allied Occupation" that appeared in the Central Liaison Office Bulletin No.3, (the Chart was compiled on the basis of the Japanese newspaper reports, containing such items as the areas of occupation, the names of detachments, the names of the commanders, the size of the forces, the date of occupation and other remarks.)

(5) That the instructions were issued on purely clerical ground and that no other purpose existed, may be sufficiently clear in consideration of the fact that the instructions contained no implications directing to investigate the matter in secret, nor any wordings precluding the local offices from making inquiries of the Allied authorities in the localities in the absence of any available data.

(6) In ascertaining the details of the British and Australian Occupation an inquiry was made dated 4 January by the 1st Section of the General Affairs Division to the General Headquarters in order to secure the information for the necessary preparation. This regular channel was not followed because there was, although out of date, available data provided in the above-mentioned "Chart" and out of the simple intention of checking up and making up-to-date the data provided the direct contact was made with the local offices.

(7) It may be added that the local liaison organization received a considerable reshuffle after it was reported at the Vice-Ministers' meeting of 31 January. After the instructions in question were dispatched the establishment of the military government system became clear and adjustment decided upon is to adapt the liaison organization to such military government system as a general rule. In fact several local liaison offices have been newly set up and some were transferred to other places or reduced their staff.

- I -

Allocation
Explanation on "the Disposition of the Allied Occupation Forces"

總 地 員 務 部 局 一 般
之 母 國
森

(1) The communication on the above subject addressed to the local Liaison Offices was drafted on 11 January last by the 1st Section of the General Affairs Division, Central Liaison Office, and was dispatched on 12 January .

(2) The object in view in dispatching the above communication was purely clerical. The 1st Section of the General Affairs Division is in charge of the business pertaining to supervisions and coordination of Liaison with the Local Liaison Offices throughout the country.

It has long been making investigations on whether or not the Local Liaison Offices and branches established at various places to meet the requirements, more or less in a haste, as the Allied Occupation progressed, are satisfactorily disposed to cope with the present situation, whether or not the new establishments are necessary in addition to the existing offices and branches, and as to which offices are to be reinforced and which other offices may be reduced in staff, and what adjustments are to be made accordingly. Incidentally it was learnt toward end of the last year that with the dissolution of the Sixth Army, partial demobilization and re-disposition of the Occupation Forces were taking place. With a view to obtaining the basic materials to adapt the local organizations of the Liaison Office to the altered situation, the above-mentioned communication was sent out.

(3) In addition to the above, the jurisdictions of the Local Liaison Offices, which are publicly announced in the Ministry of Foreign Affairs Notification along with the application of the respective Offices and their location other matters, are indicated by the areas the local unit

of

of the Occupation Forces controls, with whom the Liaison Office concerned is to deal with. Therefore, it becomes necessary to revise the Notification mentioned above, if any change occurs in the disposition of the Occupation Forces, such as demobilization, reinforcement or reduction in forces, etc. This was the second impetus that induced the dispatch of the instructions in question to obtain the details of the change in disposition of the Occupation Forces.

(4) For reasons stated above, the official in charge of the matter issued instructions, according to the form of the Chart, "Present State and Program of Allied Occupation" that appeared in the Central Liaison Office Bulletin No. 3, which was compiled on the basis of the Japanese newspapers reports, and contained such items as the place of occupation, the names of detachments, the names of the commanders, the size of the forces, the date of occupation and other remarks.

(5) That the instructions were issued on purely clerical ground and that no other secret purpose existed, may be sufficiently clear in consideration of the fact that the instructions contained no improper expressions directing to investigate the matter in secret, nor any wordings precluding the local offices from making inquiries of the Allied authorities in the localities in the absence of any other means of investigation, which was quite natural to expect at that time. However,

it is to be regretted that, instead of making inquiries of the General Headquarters through the regular channel as in the case of the British and Australian Occupation as per inquiry of the 1st Section of the General Affairs Division dated 4 January, the instructions were issued direct to the local offices, with the easy intention of making up-to-date the above mentioned Chart, "Present State and Program of Allied Occupation" in order to obtain the necessary

6. In ascertaining the details of the British and Australian Occupation an inquiry was made dated 4 January by the 1st Section of the General Affairs Division to the General Headquarters in order to secure the information for the necessary preparation. This regular channel was not followed because there was, although out of date, available data provided in the above-mentioned "Chart" and out of the simple intention of checking up and making up-to-date the data provided the direct contact was made with the local offices.

- 3 -

~~etc., thereby giving rise to troubles to all concerned~~

69) It may be added that the local liaison organizations received a considerable ^{reshuffle} adjustment after it was reported ^{at} the Vice-Minister's meeting of 31 January. After the instructions in question were dispatched the establishment of the military government system became clear and the adjustment decided upon is to adapt the liaison organization to such military government system as a general ~~rule~~ rule. In fact

~~new~~ local liaison offices have been newly set up several and some were transferred to other places or reduced their staff.

終戦連絡中央事務局

吾カ調査ニ関シ「マニヤン」ト他ト會談ノ件

昭和三一、二、二七、徳一 森 記

山元

綴込

本件ニ関シ二十七日午後二時 森「マニヤン」ト他ト會談ニ付要旨

左ノ通

印

記

一、別紙本件註明書ヲ指示セシメ「マニヤン」ト他ト之ヲ読ミ

本道明「マニヤン」ヲ「マニヤン」ト述ベ出所ヲ明ニスルニ爲シ

名セシメテト述ベシニ付終戦連絡中央事務局 係務局

A-1-0-0-2

終戦連絡中央事務局

一、課 森 係 樹 ト 英 漢 ニ シテ 署名 セリ

二、爲 倉 地 方 事 務 局 以 外 公 信 原 文 寫 ヲ 持 参 シ 添 付 セ 付 仕 要

ア、右 添 附 物 ト シテ 残 行 ク ベ ント 述 ベ 之 其 ノ 要 旨

カルベント云々ヘタリ

三、右 添 附 物 中 英 漢 語 別 記 有 リ 且 且 ヲリ 司 令 部 宛 ノ 公 信

マニヤン 係 務 局 係 務 局 係 務 局 係 務 局 係 務 局

ニ 対 シ 本 件 以 上 領 軍 経 費 割 当 ノ 爲 仕 要 ナリト 述 ベ 度 也

終戦連絡中央事務局

右ハ公信ニ目的記載シテラヤルルニ推測シテ答辯シタト

思ハレ一日附言シ置テタリ

雜

0574

主秘第二六三號

昭和二十年九月十七日

大藏省主稅局長 渡田 勇 人

財務局長

殿

聯合國進駐部隊用酒類ノ配給ニ關スル件

聯合國進駐部隊用酒類ノ供給ニ關シテハ八月三十日附電信ヲ以テ通
聯致置候ニ付夫々實施中ノコトト存候ヘ共今般之ガ供給手續ニ關シ
終戰連絡中央事務局ト協議ノ結果別紙ニ依ルコトト相成候條右御了
知ノ上進駐部隊慰安施設用及接待用酒類ニ付テモ左記ニ御留意ノ上
御實施相成度此致及通牒候也

記

聯合國進駐部隊用酒類ノ供給ニ付テハ別紙手續ニ依ルコト

A:1.0.0.2 (29)

進駐部隊用酒類ノ搬送ニ付テハ當該地方廳ノ協力ヲ求メ荷受期日
ニ送荷シ得ルヤク豫メ最寄ノ出處所又ハ荷扱所等ノ倉庫ニ設置シ
置クコト

進駐部隊ニ對スル酒類ノ供給ヲ實施スルガ爲家庭用又ハ業務用酒
類ノ配給ヲ爲サズ又ハ中止スルガ爲キコトハ盡力之ヲ避ケルヤク
留意スルコト

地方廳ニ於テ進駐部隊ノ爲酒類ヲ供スル爲施設ヲ爲サントスル
トキハ事前ニ協議ヲ遂ケルコトトシ既往ノ販賣実績ニ拘泥セズ之
ガ經營内容ニ應ジ適當數量ヲ定ムルコト

但シ配給數量ガ既ノ販賣実績ニ相當スル部分ヲ越スル場合ハ其
ノ超過部分ニ相當スル販賣差益金ヨリ賣費手續料ヲ扣除シタル金
額ヲ業務酒共販組合又ハ業務酒酒販組合ニ還元シ當該地方ノ接客
業者ニ對シ其ノ販賣実績ニ應ジ配當スル如ク措置スルコト
賣費ノ有セザル爲施設ノ販賣差益金ニ付テ亦同シ